

令和5年度

当初予算の概要

(議会内示会 説明要旨)

令和5年2月24日

本日、令和5年度当初予算内示会にあたり、その概要をご説明いたしますとともに、議会の皆様からご理解を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度の当初予算編成にあたりましては、町民ニーズと時勢に即した新規事業に着手するため、一般会計予算総額が前年度比4億円以上増加となる拡大予算を編成いたしました。

これは、財政健全化に主軸を置いていたこれまでの「守勢」から「攻勢」へ、大きく町政運営を変革することを意味します。今後2～3カ年は、コロナ禍以降、一時的に増加した国の財政支援等により確保した特定財源も投入し、必要な事業に効果的に投資していく局面であると捉えております。

安定した財政運営を実現するため、令和2年度から全庁的な事業見直しに取り組んで参りました。町のあらゆる単独事業について「本当に必要な事業なのか」を検討する中で、苦渋の決断を強いられたこともありました。特にランニングコストの負担が大きい公共施設管理において、老朽化した不用施設の廃止や危険樹木の伐採などについて、大胆に取り組んで参りました。それらは全て、財政健全化という大きな目標に向けて、使命感を持って実行してきたものに他なりません。

令和4年度には、中央公民館機能を農村環境改善センター内に移転いたしました。財政健全化の取り組みとしては、ひとつの節目となる大規模公共施設の集約化を実現し、後年度の経常経費をさらに抑制できたものと試算しております。令和5年度からは、このような取り組みによって得られた成果を、将来に向けて必要とされる新たな行政需要のために最大限に活用し、さらなる町民サービスの向上につなげていくことが町の責務であると考えております。

積極財政に舵を切るとはいえ、事業見直しにゴールはありません。職員一人ひとりが「改善」の意識を常に持ち、町の将来を見据えた中で「今、何が必要なのか。何をすべきなのか」といった視点に立ち続けることが重要です。人口減少や少子化が想定以上のスピードで進行する待ったなしの状況で、今までどおりの行財政運営がいつまでも続くはずはありません。

財政状況としては、一般財源に対して人件費、特別会計繰出金等の経常経費が依然として過剰な状態であり、公営企業や収益事業を主とした体質改善は、今後も必要です。町の規模に応じて、当然財源も限られたものとなります。的

確に町の将来を見込み、最小の投資で最大の効果を得ることが、これからの事業実施にあたって大前提となります。

最大の効果を得るということは、事業を通して、町民はもちろん、町と関わる全ての人の満足度が高い状態にあることであり、町の事業が人の心に響くものでなければなりません。

『町民の心に響く「衝動的」なまちづくりを』。これは、令和5年度の予算内示にあたり掲げたスローガンです。

行政は、未来にわたり町民の安定した暮らしを保障する義務があります。近年の財政健全化の取り組みにより構築した財政基盤をもとに、持続可能な行財政運営を実現して参ります。

令和5年度は、新たな事業などを通して、プラスアルファの「感動」や「充足感」を生み出していきたいと考えております。「金山に住んでよかった。金山を訪ねてよかった」と、多くの方に感じてもらうためには、必要不可欠な要素であると考えます。

不透明な時代にあって、町政運営には、多くの人の感情をゆさぶり、心を動かすような「衝動」が必要です。町民の幸せのために、町民の声だけではなく心にも耳を傾け、多くの人の心を突き動かす事業を展開し、衝動的なまちづくりに踏み出す年度にしたいと考えております。

令和5年度一般会計当初予算案につきましては、福祉サービスや除排雪経費、子育て支援など、安全、安心のために不可欠な行政サービスは、優先的に年間予算を確保しながらも、町民ニーズと時勢に即した新規事業に着手するため、前年度より4億1千300万円、率にいたしまして10.3%増の44億1千600万円となりました。

歳入の見込みでございますが、一般財源となります地方交付税を、地方財政計画の見込みから交付額を試算し、22億4千427万円と、前年度比5千450万円の増額としております。

普通交付税につきましては、地域デジタル社会推進費が令和7年度まで延長されるほか、公共施設の光熱費高騰分として一般行政費が増額されることなど

から、前年度比3千450万円増の20億6千427万円を予算計上しております。

特別交付税につきましては、リスキリング推進として、デジタル化の取り組みの中核を担う職員の育成に対し、特別交付税が措置される見込みであり、当該事業を検討していることから、前年度比2千万円増の1億8千万円を予算計上しております。

地方交付税は、原則として人口規模に応じて交付されることから、人口減少に比例して減少傾向に転じると想定されます。令和5年度予算案において、地方交付税は歳入全体の50.5%を占め、予算規模への影響が大きいことから、過大に見込むことのないよう試算するとともに、町民所得向上対策の強化などにより自主財源の確保に努めて参ります。

一般財源の不足分につきましては、財政運営基金から1億8千500万円を繰り入れることで財源を調整しております。ふるさと寄附を財源とするかねやま応援基金につきましては、令和5年度の重点事業に活用するため、6千670万円を繰り入れすることとしております。

その他、概ね1千万未満の公共施設改修工事等の財源として、資産活性基金を2千380万円、金山小学校床板補修工事など小中学校施設における比較的軽微な修繕工事等の財源として、学校施設整備基金700万円を繰り入れすることとしています。

町債については、投資的事業費の増加に伴い、前年度比2億3千70万円増の4億5千850万円の予算計上としております。過疎対策事業債や辺地対策事業債、脱炭素化推進事業債など交付税措置のある有利な事業債を中心に、各事業に最適な事業債を発行することで、財政負担を軽減して参ります。

今後2～3ヵ年程度、複数の大規模な投資的事業を計画していることから、一時的に起債残高が増加に転じ、令和9年度をピークに公債費も増加する試算としております。近年、財政健全化に向けて、起債発行を抑制してきたことや基金残高を確保できている影響も大きく、将来負担比率や実質公債費比率等の財政指標について、問題なく推移する見込みとしております。

寄附金の大部分を占めるふるさと寄附につきましては、引き続きリンベル株

式会社に業務を委託し、さらなるプロモーション強化を図っていきたいと考えております。寄附者のニーズを捉えた返礼品を充実されることにより、寄附額の向上に努めて参ります。予算額としては、令和4年度と同様の1億円を計上しております。

後ほど、内示資料あるいは各課が担当する事業の詳細につきましては、各課長から説明させていただきますので、私からは特徴的な事項や重点的に取り組む事業を述べさせていただきます。

国が掲げる「デジタル田園都市国家構想」のもと、当町でも本腰を入れて行政のデジタル化に着手し、令和5年度から7年度までの3カ年を強化期間と位置付け、金山版自治体DXを推進して参ります。

「町民の利便性向上」と「効率化による業務改善」を推進の柱として、デジタルを活用した行政サービスが地域に根付き、町の個性を活かしながら、社会課題の解決と魅力の向上を図りたいと考えております。

自治体DXは理想論で推進すると住民が置き去りにされかねません。町民の豊かな生活のそばにある実効性の高いデジタル化を実装していくため、株式会社セガ エックスディー（以下、セガXD）と共同で事業を推進して参ります。

令和4年度に、地方公会計支援業務を委託している税理士法人あさひ会計とセガXDを含めた3者の共同事業として、財政状況の見える化をテーマに「地方公会計インフォグラフィックサービス」を活用した「金山まちちがいがし」の冊子を制作いたしました。専門用語の多い財政分野について「どうすれば伝わるか」を専門的に分析し、徹底的に町民の視点に立つことで、町の財政状況をわかりやすく伝えることができたこと、効果を実感しております。

このような実績からも、セガXDの専門分野であるエンターテインメント性やユーザー目線にこだわったマーケティング技術を、町のデジタル化推進事業に導入することで、商工農林事業者や高齢者の支援、地域コミュニティの継続など、あらゆる課題に対して新たな行政サービスが提供できると期待しております。

令和5年度は、デジタル化推進委託料として4千万円を予算計上しております。セガXDをアドバイザーに迎え、町民ニーズの調査や課題の洗い出しを踏

またデジタル事業を立案し、実効性のある推進計画を策定して参ります。また、全庁的なDX推進には、職員一人ひとりの知識習得が肝要であると考え、全職員を対象とした研修会を実施する予定です。デジタルの知識はもちろん、DXを行政サービスへ活かすための企画力や設計力、推進力などを身に付ける独自プログラムを検討しております。

町のデジタル化は、整備して終わりではありません。町民の皆さんがデジタル技術に触れ、浸透して初めて意味あるものとなります。「つい、使いたくなる行政サービス」を目指して、効果を実感できるデジタル化を推進して参ります。

投資的事業としては、令和7年度の高規格道路の開通に向けて、旧中央公民館跡地を含めた一帯に、中央公園（仮称）を整備する計画としております。令和5年度は、旧中央公民館や防災倉庫等、敷地内の施設を解体し、駐車場として活用できるよう舗装工事等の予算もあわせて計上しております。

旧中央公民館跡地については、町中心部に位置し、国道や主要地方道に接する、まちづくりにおいて重要な意味合いを持つスペースであることから、町民サービスの向上や町中心部の活性化のために、効果的に活用していく必要があります。

令和4年度には、職員で構成する庁内のプロジェクトチームにおいて、事例視察等を踏まえた活用案を検討いたしました。大型観光バスが駐車可能なスペース、集客イベントを開催できる空間、多世代が気軽に集える緑地の拡充及び遊具やウォーキングコースの設置などといった活用案が出されたところです。

子どもから高齢者まで「町民誰もが集える憩いの空間」として、訪問者にとっては「町の入り口・シンボル」として、町民の皆さんからご意見をいただきながら、細部にわたる必要な機能を検討し、令和7年度の完成を目指して、中央公園（仮称）整備を進めて参りたいと考えております。

関連する新規事業といたしまして、フラワーコネクションプロジェクト事業に取り組んで参ります。当町が誇る景観施策に、親しみやすい「花」の要素を加え、日常そのものを観光資源として磨き上げていきたいと考えております。

当町の観光・交流の目玉は、何といたっても景観です。コロナ禍で減少したとはいえ、令和3年度には11万人を越す観光客が当町を訪れ、その方々のほと

んどが、大堰や金山住宅が建ち並ぶ町中心部を散策してくださっております。

しかし、近年、金山住宅の建築数が減少傾向にあります。特に若年世代を中心に金山の景観に対する意識が希薄になっており、住宅を起点とした景観づくりの停滞が課題となっております。町としては、景観施策において町民の皆さんに喜んでもらえる取り組みでなければ意味がありません。主体性を重んじる景観施策の原点に立ち返って、新たな事業を展開して参ります。

フラワーコネクションプロジェクト事業は「町をひとつの庭に。花でつながる風景と人」をテーマとします。まずは中心部の公園にコンセプトをもって新たに植栽し、各家庭につなげていく構想です。

事業実施にあたっては、長井市を拠点にガーデナーとして活躍される青木真理子さんをパートナーとして迎える予定です。どこにでもあるような多年草の植栽をメインに、ありのままの姿に近い風景づくりを得意とされています。手間をかけずに自然に近い美しさをコンセプトにする青木さんのガーデニングは、「美しく古びる」を美学とする当町の景観施策とも共通する考え方です。

景観づくりは、町内全体に取り組みを広げていくことが肝要です。住宅を起点とする従来の景観づくりは、その規模の大きさから自分が関わっているという実感が得られにくいという側面があると思われれます。しかし、愛好家も多い「花」をきっかけとする景観づくりであれば、比較的取り組みやすいのではないかと考えております。研修会等を通して、思いや考え方、植栽技術を共有しながら、地区や各家庭に豊かな風景を広げていきたいと考えております。

また、景観アクションプログラムの取り組みとして、新たに「街並み景観児童図画コンクール」を開催いたします。当たり前すぎて気付いていない町の魅力に触れ、子どもたちに景観を誇りに感じてもらえるよう、教育の一環として取り組みを強化して参ります。

景観づくりは一朝一夕というわけにはいきません。伝統的な考え方を基本に、新たな価値観を加えることで、町民の皆さんが主体性をもって取り組むことができる魅力的な事業となるよう地道な推進に努めて参ります。

観光の拠点であるグリーンバレー神室一帯につきましては、令和2年度から経営分析や様々な運営方法等の検討を重ねておりますが、その中で、令和5年

度から一部改善に向け、着手可能な部分から取り組んで参ります。また、現時点での各施設の方向性としましては、次のとおりとしております。

まず、ホットハウスカム口につきましては、毎週水曜日を休館日とし、令和6年度末まで現行施設で営業して参ります。その後のあり方は、令和5年9月頃まで継続検討いたします。

株式会社グリーンバレー神室振興公社が経営しているホテルシェーネスハイム金山並びにレストランフォレストにつきましては、現体制では改善の見込みに限界があるため、専門的な民間事業者と連携し、抜本的な経営改善を目指し、経営を継続いたします。

キャンプ場・広場につきましては、令和5年度から民間企業である指定管理者による経営とし、さらなるサービス向上による集客拡大策を講じることで運営を継続して参ります。

神室スキー場につきましては、民間譲渡や民間経営あるいは規模縮小等を検討しながら、令和5年シーズンからの廃止も視野に入れて、令和5年9月頃まで継続検討いたします。なお、クロスカントリースキーコースについては、町が運営を継続して参ります。

以上の内容をベースといたしまして、さらに精力的に検討を加えまして、今年9月末頃を目途に最終方針をお示ししたいと考えております。

続いて、令和4年11月3日に掲げた「金山町ゼロカーボンシティ宣言」の中で、「水清き町」を次世代に引き継いでいくため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにしていることから、重点事業として、ゼロカーボンの推進を強化して参ります。

ゼロカーボンに向けた取り組みにあたっては、町民の皆さんへの意識付けが極めて重要であると考えております。令和5年度には「ゼロカーボンかねやま2050協議会」を立ち上げ、気運を醸成して参ります。また、ゼロカーボンに向けた具体策について、広くアイデアを募集する予定です。採用されたアイデアは、地球温暖化対策実行計画に反映させ、町の事業として実施して参ります。

事業の指針として、環境省の補助事業である「地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業」に応募し、2050年カーボンニュートラルの実現を見据えて、地域全体の目標を策定いたします。事業が採択されれば、令和6年度まで2ヵ年で実施して参ります。

ゼロカーボンに向けては、地道な取り組みも必要不可欠です。適切なおみの分別もそのひとつであり、小さな改善の積み重ねによって、大きな効果が得られるものと考えております。例えば、燃えるごみの中に、資源ごみでもある雑紙が混在しているといった課題があります。ビン・缶・ペットボトルの分別は浸透していますが、その他にも分類できる資源ごみがあることを知らない方も多いかもしれません。町民の皆さんが、当たり前のように分別できるようにする事業も協議会とともに検討して参ります。

公共施設照明のLED化も順次進めて参ります。令和5年度は、役場庁舎や農村環境改善センターホール、金山中学校体育館の照明をLED化する予定としております。脱炭素化推進事業債を活用するなどして、町負担の軽減を図りながら計画的に環境にやさしい公共施設へと改修を進めて参ります。

さらに、町民の健康寿命延伸のため、令和4年度から重点事業として取り組んでいる「健康づくりプロジェクト事業」を、継続して推進して参ります。

事業内容は、食生活改善として「減塩対策と適塩の定着」、日常運動の推進として「ウォーキングの推進と運動環境整備」、健診事業の充実として「健診体制の強化と事業所との連携」を3本柱としています。

令和4年度には、町内の5事業所から健康づくり推進事業に賛同いただき、約240人から半年にわたり塩分摂取量などの調査にご協力いただきました。1日あたりの推定食塩摂取量について、1回目と2回目で数値の改善がみられるなど、厚生労働省が推奨している摂取目標量には及ばないものの、健康意識の向上と捉えることのできる成果があったものと評価しております。

その他にも、新たな取り組みとして、診療所を会場に町で行ったドック健診・特定健診受信者のうち75歳未満の方全員を対象に、健診結果説明会を実施いたしました。保健師など専門職から一人ひとりに説明しながら健診結果をお返すことで、自分の体について理解が深まったとの声をいただいております。また、診療所の受診予約がその場でできるため、予約数が増加したといった成

果もでございます。

また、自発的に運動やスポーツ活動に取り組み、習慣化してもらうことを目的として、「とこみどりウォーク」を開催いたしました。春・夏・秋の3回を通して約360人が参加し、参加者の1日あたりの平均歩数が8330歩と、町が目標としている8000歩を上回る結果となりました。

高齢化が進む当町にとって、「健康づくり」は、優先的に取り組むべき事項です。町で暮らす皆さんが、生涯にわたり活躍できる環境を整えるとともに、ご自身が元気に生活することこそが、ご本人の最大の喜びであり、ひいては、高齢化社会において社会保障費を減少させる大きな鍵であると考えております。介護保険料の次期改定期においては、少しでも保険料が減額となるよう、引き続き、町民運動として多くの方を巻き込んだ事業展開を図って参ります。

以前から力を入れて取り組んで参りました「子育て支援」について、かねやま子育て応援宣言のもと、子育てにかかる経済的な負担軽減を図るとともに、家庭育児での親子の愛着形成を推進して参ります。経済支援策につきましては、出産祝金や通園費助成金、家庭育児支援金などを実施し、幅広い世代に対する支援を継続して参ります。

子育て支援センターにつきましては、利用者のニーズに柔軟に対応できるよう令和5年度から町の直営により運営いたします。子育てに関わる悩みに対して、きめ細やかなフォローアップができるような相談体制を継続して参ります。加えて、遊具を追加設置するなど利用者の満足度が高まる運営に努めて参ります。

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、ワクチンの普及等に伴い、「ウィズ・コロナ」下の生活が当たり前になりつつあります。このような状況において、イベントなど多くの人が集まる事業についても、極端に慎重になりすぎず「どうやったらできるか」を考え、前向きに事業実施を検討して参ります。また、5月8日から同感染症が5類感染症に移行することが決定されております。その場合、これまでの対応とどう異なるかなど、情報を注視しながら適切に対応して参ります。

一方で、物価や燃料価格の高騰により、町民生活や農林業、商工業が大きな打撃を受けております。令和4年度においては、地域応援商品券配布事業や燃

料費高騰対策等事業継続支援金など、状況に応じて補正予算を編成して、対応して参りました。物価や燃料価格が高止まりし、状況の改善が見られない中で、令和5年度においても、家計への支援は継続するべきであると考え、町民一人あたり5,000円の生活応援商品券を配布する予定としております。また、状況に応じて事業者への聴き取りを行うなどして、必要な支援を講じていきたいと考えております。

次に、特別会計につきましては、地方公営企業法適用の水道事業会計資本的収支予算を除く特別会計全体の予算合計は16億7千40万円となり、率にいたしまして10.4%の減少となっております。

特徴的な事項といたしまして、国民健康保険特別会計直診勘定につきましては、町立金山診療所において、コロナワクチン接種にかかる受託料が皆減となっている一方で、外来収入が前年度比1千571万円増の7千313万円となっております。看護師の派遣に関わる会計間の異動もあり、一般会計からの繰入金は前年度比1千633万円の減となっております。

令和4年12月末で桜クリニックが閉院したことにより、1月以降、当院をかかりつけとしていた患者さんの一部が、町立診療所を受診される流れができており、上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）等の受け入れが増加傾向にあることも踏まえて、外来収入の増加を見込んでおります。

歳出につきましては、耐用年数の経過した全身用X線CT更新費3千80万円など設備更新による増加はありますが、全体としては前年度比320万円の減少となっております。

後期高齢医療特別会計につきましては、前年度比570万円の減少となっております。当町の後期高齢者医療被保険者一人当たりにかかる医療給付費は、県内市町村の中でも特に低くなっております。今後も被保険者の健康管理を推進し、適正な医療給付を行って参ります。また、後期高齢者医療制度の改正など今後の動向を注視しながら、山形県後期高齢者医療広域連合と連携した対応を継続いたします。

介護保険特別会計につきましては、前年度比400万円の増加となっております。令和5年度は、第8期介護保険事業の最終年度であり、第9期に向けた介護保険事業計画策定を実施いたします。第8期においては、当初の見込みどおりに推移しており、引き続き、健康づくり事業を中心に介護予防を強化することで、初回要介護認定を引き下げる取り組みを行って参ります。

農業集落排水事業特別会計につきましては、前年度比1億180万円の減少となっております。計画に基づく明安地区処理施設の大規模改修工事が完了することから、大幅な減少となっております。

公共下水道事業特別会計につきましては、前年度比8,700万円の減少となっております。ストックマネジメント実施方針策定委託料、浄化センター電気設備補修工事の減により、大幅な減少となっております。

農業集落排水事業特別会計並びに公共下水道事業特別会計については、今後も施設の計画的な長寿命化を図るとともに、適切な維持管理に努めて参ります。また、両会計ともに、令和6年度より公営企業会計に移行いたします。令和5年度が移行準備の最終年度となるため、スムーズに移行できるよう対応して参ります。

水道事業会計につきましては、水道使用料の減少等により、水道事業会計の収益的収支が悪化傾向にあることから、令和4年度より、一般会計から水道事業経営安定補助金として資金繰りを支援しています。当面の運営資金として、令和5年度及び6年度に2千万円ずつ、計7千万円を補助金として支援する予定としております。資本的収支においては、稲沢地内排水管更新工事3千930万円を予算計上しております。今後も老朽度合を勘案し、計画的に施設更新して参ります。

以上、各会計の主な概要につきましてご説明させていただきましたが、今まで申し上げました事業のほか、詳細の事業につきましては、このあと担当課長から主要施策別事業概要一覧によりご説明いたします。

なお、予算の執行にあたりましては、あらゆる分野を連携させ、十分に効果を発揮することと、財政展望や人口推計など、将来の町の姿を常に意識しながら事業を実施して参りたいと存じます。

議会の皆様にも、引き続き、ご理解とご協力、そしてご指導くださいますようお願いを申し上げ、令和5年度各会計当初予算案の内示とさせていただきます。ありがとうございました。